

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目 1 番 1 号
- 2 設立年月日 平成 8 年 4 月 1 日
- 3 代表者 代表取締役 柏木 康彦 (平成 27 年 6 月 29 日就任)
- 4 資本金 364,800 千円
- 5 北九州市の出資金 88,200 千円 (出資の割合 24.2%)
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9 人	0 人	1 人	0 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職 員	6 人	0 人	0 人	6 人

II 平成 26 年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

平成 26 年度は、4 月当初から土・日曜日ごとに雨天に見舞われ、また夏休み期間中も、近年例を見ないような連日の雨が続いた。春先の「平尾台野焼き」も雨天により延期されるなど、天候による入園者数の減少があったが、冬季のメインイベントである「平尾台ふゆはなび」は好天に恵まれ、過去一番の盛況であった。また、新規のイベントである「トレイルウォーキング」も集客に貢献したが、平尾台自然の郷の通年の入園者数は前年度を若干下回った。

(2) 経過

① 「平尾台自然の郷」の入園者数 289,311 人 (平成 25 年度 291,085 人)

入園者数は、上期 200,724 人 (前年度 204,329 人)、下半期 88,587 人 (前年度 86,756 人) となった。上半期の入園者数の減 (3,605 人減) に対して、下半期は、「平尾台ふゆはなび」の盛況などにより、前年度を上回ったが (1,831 人増)、通年では、前年度を若干下回った。

② 「平尾台自然観察センター」の入館者数 46,006 人 (平成 25 年度 47,762 人)

入園者数は、上期 29,794 人 (前年度 32,310 人)、下半期 16,212 人 (前年度 15,452 人) となった。「平尾台自然の郷」と同様に上半期は、雨天などの影響を受けた (2,516 人減)。下半期は、冬季対策として、室内イベントなどを積極的に行った結果、前年度を若干上回ったが (760 人増)、通年では前年度を下回った。

③ 売上・利益

売上高は、223,339 千円、経常利益は、3,535 千円となった。法人税等控除後の当期純利益は、1,717 千円 (平成 25 年度 : 77 千円) となった。

2 主な事業実施状況

(1) 「平尾台自然の郷」

① PR活動

- ・春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。
- ・マスコミを活用したパブリシティ広報に力を入れ、地域情報誌やテレビ、新聞、市政だよりなどに情報提供を行い、取材には積極的に対応した。
- ・圏外でのPR活動として、「まつりみなみ」、「陶磁器フェスタ」へ出店した。
- ・市内及び近隣市町村の高齢者施設、幼稚園・保育所へのPR活動を強化した。

② 入園者の満足度向上の取り組み

- ・ゴールデンウィークの期間、夏休みの土日・お盆は、18時まで開園時間を延長した。
- ・夏季の暑さ対策として、「せせらぎ」の運用、「日差しよけ遮光ネット」、「ミストクーリングシステム」、「幼児用簡易プール」などを設置した。

③ 各種イベント等の実施（新規）

- ・夜間イベントとして、日本で初めての試みである「アスレチックリレーマラソン（通称ゾンビマラソン）」を誘致し、大きな注目を浴びた。
- ・臨時駐車場の空きスペースを活用したイベントとして、カワサキオートバイのコーヒーブレイクミーティングを受け入れ、全国から多くのライダーが訪れた。
- ・ウォーキング・ポールを使用した「平尾台トレイルウォーキング」を誘致し、新たな来園者層の拡充を図った。

④ 各種イベント等の実施（継続）

- ・平尾台全体のイベントとして、平尾台自然観察センターと共同で「平尾台ミステリー・キャンペーン」、平尾台の特色を活かしたイベントであるガイドツアー（ケイビング、カルストジャングル冒険ツアー）を実施した。
- ・そば打ち教室等、各工房における講座、ブルーベリー摘み取り体験等の菜園・果樹園を活用したイベントやペルセウス座流星群観察会、スーパームーン観望会等の天体観測イベントを行った。
- ・平尾台観光祭、新米まつり、平尾台ふゆはなび、野焼き等の地域と協働したイベントを実施した。
- ・トレイルランニング、クロスカントリー等のスポーツイベントを共催し、高原ピクニックコンサート、中学・高校合同プラスフェスティバル等の音楽イベントを受け入れた。
- ・小学校環境体験科授業、中学校野球部対抗駅伝大会等の学校教育と連携したイベントを行った。
- ・コンパクトカーミーティングや車などの趣味グループのオフ会、林道ラリー会場など、臨時駐車場のオープンスペースを活用したイベントを誘致した。

(2) 「福岡県平尾台自然観察センター」

- ・施設利用者のサービス向上、利用促進のため、ホームページの充実を図るとともに「平尾台自然の郷」と連携した広報・PR活動を実施した。
- ・平尾台散策コース整備、外来植物駆除、野草調査、草刈などのボランティア活動を行い、平尾台の景観維持、山野草の保護に努めた
- ・自然観察普及・啓発・指導業務、フィールド巡視業務などを着実に実施した。
- ・天体観測、鍾乳洞探検、登山教室、ススキ観賞登山、野草観察会、きのこ観察会、こうもり観察会、枯野観賞ハイキングなど、季節に即した野外イベントを行った。
- ・屋内イベントとして、アートフラワー講座、野草写真展、きのこ写真展、カルスト文化祭、凧作り、松ぼっくりツリー作り、ミニ門松作りなどを行った。

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成 27 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	477,619,249	流 動 負 債	19,524,413
現 金 預 金	455,274,372	買 掛 金	1,453,289
売 掛 金	14,170,965	未 払 金	4,169,826
商 品	7,285,122	未 払 費 用	4,939,774
原 材 料	522,090	未 払 法 人 税 等	1,459,200
貯 蔵 品	366,700	未 払 消 費 税 等	5,169,000
前 払 費 用		預 り 金	583,324
未 収 税 金		賞 与 引 当 金	1,750,000
固 定 資 産	54,214,162	負 債 の 部 合 計	19,524,413
(有形固定資産)	(53,922,962)	純資産の部	
建 物	1,670,901	科 目	金 額
構 築 物	43,799	資 本 金	364,800,000
車 両 運 搬 具	2,417	資 本 剰 余 金	73,837,619
器 具 備 品	489,587	その他資本剰余金	73,837,619
土 地	51,716,258	資本金及び資本準備	73,837,619
(無形固定資産)	(291,200)	金減少差益	
電 話 加 入 権	291,200	利 益 剰 余 金	73,671,379
(投資その他の資産)	(0)	繰越利益剰余金	73,671,379
敷 金	0	株 主 資 本 合 計	512,308,998
繰 延 資 産	0	純 資 産 の 部 合 計	512,308,998
開 業 費	0		
資 産 合 計	531,833,411	負 債 及 び 純 資 産 合 計	531,833,411

2 損益計算書（総括表）

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		223,338,595
	売上高	223,338,595	
	営業費用		220,812,393
	売上原価	195,333,237	
	販売費及び一般管理費	25,479,156	
	営業利益		2,526,202
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		1,008,596
	受取利息	177,996	
その他の営業外収益	830,600		
営業外費用		24	
開業費償却	0		
その他の営業外費用	24		
経常利益		3,534,774	
益の特別損	特別損失		64
	固定資産除去損	64	
税引前当期純利益			3,534,710
法人税、住民税及び事業税			1,818,145
当期純利益			1,716,565

IV 平成 27 年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」の指定管理業務

- ① 組織の見直し：重点目標として、年度当初に、組織・人員の見直しを行い、効率的な施設運営に努めると同時に経営改善を図る。また、自主事業部門（レストラン等）については、来園者のニーズ等を踏まえ、次年度実施を目的に運営形態等についての具体的な検討を行う。
- ② 平尾台の更なる魅力発信と「平尾台自然の郷」への集客との連携：山歩き愛好者のために、「平尾台自然の郷」を拠点としたコースガイドを作成し、公共施設やアウトドアショップ等で配布するとともに、動画でネット上にアップロードすることにより、平尾台全体の魅力を広く紹介すると同時に、「平尾台自然の郷」への集客を図る。
- ③ 新規イベントへの取り組み強化：平成 26 年度に新たに実施し、集客・PR 効果の高かった「ナイトマラソン（ゾンビマラソン）」や「トレイルウォーキング」を継続・拡大して実施するとともに、新たな魅力あるイベントの導入・誘致に取り組む。
- ④ 売上増の取り組み：来園者の増加がレストラン・物販施設や各工房、または蕎麦や石窯パン等の利用、収入像につながるように、各施設の積極的な PR に努めるとともに、各種イベントとタイア

ップした販売を促進する。また、新たな工房プログラムを開発する。

2 「平尾台自然観察センター」の指定管理業務

- ① 重点目標：新規イベントとして、「平尾台ガイド散歩」を実施する。これは、毎月テーマ（花・虫・風景等）を決めて、ガイドと共に平尾台を散策するもの。年24回実施予定。
- ② 「平尾台自然の郷」との共催事業の拡大：例年、「平尾台自然の郷」と共催で実施している天体観測（ペルセウス座流星群等）やミニ門松作りなどの事業を拡大実施し、両者の更なる連携と集客の相乗効果を計る。

V 平成27年度予算

1 予定損益計算書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日（単位：千円）

勘定科目	平成27年度予算
(営業損益の部)	
売 上 高	227,705
売 上 原 価	194,650
一 般 管 理 費	28,522
営 業 利 益	4,533
(営業外損益の部)	
営 業 外 収 益	550
受 取 利 息	160
そ の 他 営 業 外 利 益	390
営 業 外 費 用	0
営 業 外 利 益	550
税 引 前 当 期 利 益	5,083
法人税・住民税 及び事業税	2,590
当 期 利 益	2,493

VI 役員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	柏木康彦	社長
取締役	柴田邦江	北九州市 総務企画局長
〃	西田幸生	北九州市 産業経済局長
〃	横矢順二	北九州市 建設局長
〃	山田高寛	三菱マテリアル(株) 九州工場副工場長
〃	根石紀雄	(株)ユアーズ 代表取締役社長
〃	安藤俊作	住友大阪セメント(株) 小倉事業所副所長
監査役	糸永卓見	(株)太平設計 代表取締役社長
〃	定野敏彦	(株)西日本シティ銀行 常務執行役員